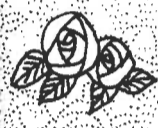


# 薔薇会だより



熊本信愛薔薇会  
熊本市上林町3-18  
TEL354-5355(代)

印刷所  
株式会社 今村印刷  
TEL371-5085(代)



## 第77回総会 にあたって

会長 宮崎マサ子

母校の創立百周年記念行事も盛大に無事に終え、二十一世紀に入つての初めての薔薇会総会を開くことになりましたが、お懐しい先生方、会員の皆様方多数ご出席いただき、まことにありがとうございます。

会員の皆様には、かねて薔薇会の活動にお力添えをいただき、心より感謝いたしております。

二十一世紀に入り、永年勤めてこられました前会長長林原テール様、前副会長長菊田節子様・鶴野八重子様・世良和子様のお受け、会長・副会長が新しく代わりました。微力ながらも精一杯務めさせていただきます覚悟しております。

同窓生二千二百名にもなる薔薇会の和と輪が少しでも大きくなることを目標にして役員一同薔薇会活動に努めております。

その一つに、毎年五月に開催される「ひのくに校歌祭」に、県内は勿論、県外からも多数ご参加していただき、旧友との久しぶりの

再会に和やかな一日を過ごしていただきます。校歌を高らかに歌い信愛の意気を示し、心強く思います。

次に、平成八年六月に「薔薇会コーラス」を設立し、会員の和と輪が広がっております。月の第一・三水曜日の午後、音楽室にて、同窓生で母校の音楽担当の村川和美先生のご指導で楽しく和やかに練習しております。母校の華秋祭(文化祭)に参加したり、施設訪問をしたりしてコーラスの披露をさせていただいております。

初めての試みですが、十一月二十五日より一週間、県立美術館別館にて、「薔薇会文化展」を開催する予定にしており、各方面で活躍していらっしゃる同窓生の皆様の特技を発表していただきたいと思っております。ここでも大いに薔薇会の輪が広がるのではないかと期待しております。

大正三十年十月に、第一回同窓会総会が開かれて八十八年になりますが、歴史あるこの会を誇りとし、

これからも私達は、母校と薔薇会の発展のために努力したいと思っております。

本日の総会には、特別に母校在校生の皆様、新体操の演技をお願いいたしました。ご指導の菊池みずほ先生・生徒の皆様ありがとうございました。続いて村川和美先生による歌(ソプラノ)のご披露と同窓生で各方面で活躍の原村千秋先生のピアノ演奏があります。ご多忙中を快く引き受けていただき、本日の総会に花を添えてくださいます。まことにありがとうございます。

最後になりましたが、皆様の健康とご多幸をお祈り申し上げます。挨拶といたします。

昭和二十九年卒  
(旧姓 永石)



教頭 窪田 正彦

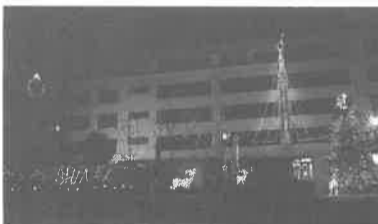
## 信愛―昨日、今日

「今日一日を無事に過ごせますよう神様にお祈りいたします」  
始業のチャイムと同時に始まる朝礼の祈りは今も「主の祈り(主祷文)」、そして終礼は天使祝詞です。ただ、カトリック教会の新しい動きに合わせて文語体が口語体に変わったことが唯一の変化でしょうか。足踏みオルガンの伴奏で聖歌を歌います。オルガンと言

「今日一日を無事に過ごせますよう神様にお祈りいたします」  
始業のチャイムと同時に始まる朝礼の祈りは今も「主の祈り(主祷文)」、そして終礼は天使祝詞です。ただ、カトリック教会の新しい動きに合わせて文語体が口語体に変わったことが唯一の変化でしょうか。足踏みオルガンの伴奏で聖歌を歌います。オルガンと言

資料室には百年ほど前から使用していたというオルガンが展示されています。記念式典ではこのオルガンを使つての美しい演奏がありました。このオルガンをはじめ、学校の歴史を物語る多くの写真、また当時の皆様の作品などを目にしますとき、私の奉職するはるか以前の方々の青春の息吹までが感じとられ、明るい歌声や笑い声が遠く聞こえるような気が致します。

同窓会名簿をめくりますと、関わった生徒さんの顔が時間を超越してすぐに浮かびます。長年の担任生活では同姓同名の方を受け持つこともありますが、結婚して同姓同名になった方もいますが、不思議と混同しないのです。あのときのあのまの顔が目につかび、声が聞こえるのです。結婚されたり新しい住所を知るにつけ、心からご健康とお幸せを祈らずにはいられません。二年前からクリスマスキャロリングが復活しました。上通りをローソクを持って聖歌を歌いながら行列します。ボランティア活動は相変わらず盛んです。皆様が築かれた美しい伝統は今も確かに受け継がれています。IT時代に入り、学校の施設も次々と改善されています。ホームページも作り直しました。徐々に充実させていくので一度アクセスしてみてください。



12月24日5時集合で、学校から上通りのキャロリングを行っています。昨年から同窓生の参加も募集しております。どうぞご参加下さいませ。

同窓生の皆様、身体はそれぞれにの地にあつても「一つの心、一つの魂」を堅持し、今後とも元気に過ごさしにいられますようお祈り申し上げます。

(池尻ひとみ校長先生がご病気で入院中のため、教頭先生に原稿をご依頼しました。)

同窓生としての心構え  
商業三年一組 西 冬萌

私達が、信愛女学院に通い始めて早くも三年、又は六年が経ちました。入学した当初は、慣れないお祈りや校則があり戸惑いもありましたが、校門をくぐる度に一歩ずつ信愛生へと近づいていったように感じます。聖く・明るく・美しくをモットーに、厳しいながらも慈愛にあふれるこの学院で過ごすことができたことは、幸せでもあり貴重な財産ともなりました。また、先生方や友人にも恵まれ、どんなときでもそばで支えてくだ



さり、感謝しております。そして、百周年という記念行事も皆様の協力が無事に終えることができました。この大きな節目の時に在任校でできたことをうれしく思っております。

これからそれぞれ進む道は違つても、学院で学んだ礼儀作法や人を愛する気持ちを忘れず、まっすぐ進んでいきたいと思っております。百年の間に培われたメール・ボルジア先生からの教えは、これからの私たちの後輩にも着実に受け継がれていかなければなりません。私たちがそのことを強く祈っております。これからは同窓生の一人として、自覚をもち歴史に恥じないよう努力し、自分自身を磨いていきたいと思っております。

信愛女学院のますますの発展を願ひこれからは温かく見守り続けて参ります。

映美くみ子(宝塚月組)さんを迎えて  
広報部 梅田 純子(昭和四十九年卒)

平成九年、十七歳で超難関の宝塚音楽学校に入学するまで、熊本信愛女学院中学、高等学校に在学していた映美くみ子(本名・本山麻衣子)さんが、平成十三年八月、異例の抜擢で、月組娘役のトップスターとして、東京公演でデビューされました。

幸運にも、昨年十一月十六日・十七日の二日間、熊本市市民会館にて熊本公演の実施となりまして、薔薇会も側面より応援させていただき、二日間昼夜の四回の公演が満席になる程の大成功で、大変嬉しく、誇らしく思いました。

在学中のくみ子さんは、とても素直でまじ目な生徒さんで、成績は常にトップクラス。癒しを感じさせる澄んだ眼差しで笑顔が絶やさない明るい方だったそうです。

帰郷の際は、母校を訪ね、職員室に挨拶を欠かさない愛着心に溢れる人柄でもあると、担任の先生のお話しを伺つて、私達同窓生も学ぶところではなからうかと思ひ感じいたしました。

公演の前日、私達役員はテレビ熊本のご好意で映美くみ子さん、アーケホテルで三十分程お話をする時間を作つて頂きました。

研修二年で娘役トップスターに抜擢された黒木瞳さんに続くスター



「熊本信愛女学院同窓会 薔薇会展のお知らせ」  
世良 和子(昭和二十五年卒)

同窓生間の親睦を図り、同窓生の手による数々の作品を通して、お互いに芸術文化の意識を高めて、楽しみを共にすることを目的として、今回はじめての同窓生による、同窓生の為の作品展を企画いたしました。又、こうした行事が、母校信愛の発展にも繋がればと、念じつつ、皆さま方の御協力をよろしくお願い申し上げます。

会場の確保は、むずかしいと思われはしましたが、幸いにも予定通り許可を受けられたことを感謝いたします。

同窓生の皆さま、どうぞ早めにお申し込みくださいますようお願い申し上げます。

薔薇会展へ  
ぜひ出展を!!  
宮崎マサ子  
以前は、母校の華秋祭(文化祭)

同窓会も展示場を一室担当させていただいておりましたが、最近休んでおりましたので、今年初めに試みとして学校外で「薔薇会展」を行うことになりました。

幸い、県立美術館別館一階を借りることができましたので、同窓生の隠れた作品を奮って出品していただきたいと願っております。

老いも若きも、つまり先輩も後輩もこれまでに極めておられたご自分の特技や趣味を発表し合い、同窓生の文化意識を高めていきたいものだと思います。

会場では、同窓生の新しい出会いや懐かしい再会があるのではなからうかと、その場を想像するだけでも今から楽しくてしょうがありません。

これをきっかけに、薔薇会の輪が広く大きく広がり、同窓会の発展につながるよう心から祈つてやみません。

薔薇会の皆様、あなたの隠れた作品をぜひ出品してください。お友だちにも出品へのお誘いをしてください。お待ちしております。



**熊本信愛女学院 薔薇会展**

場所  
熊本県立美術館分館(展示室1)

日時  
平成14年11月25日(月)より  
12月1日(日)まで

展示内容  
絵画 書道 工芸 陶芸  
刺繍 ちぎり絵 おし花 など

参加者  
熊本信愛女学院同窓会会員

申込締切  
平成14年8月30日まで

申込連絡先  
出田光子(昭和45年卒)  
FAX/TEL 096-384-3122 水前寺5-16-38

**薔薇会からのお知らせ**

同窓会も展示場を一室担当させていただいておりましたが、最近休んでおりましたので、今年初めに試みとして学校外で「薔薇会展」を行うことになりました。

幸い、県立美術館別館一階を借りることができましたので、同窓生の隠れた作品を奮って出品していただきたいと願っております。

老いも若きも、つまり先輩も後輩もこれまでに極めておられたご自分の特技や趣味を発表し合い、同窓生の文化意識を高めていきたいものだと思います。

会場では、同窓生の新しい出会いや懐かしい再会があるのではなからうかと、その場を想像するだけでも今から楽しくてしょうがありません。

これをきっかけに、薔薇会の輪が広く大きく広がり、同窓会の発展につながるよう心から祈つてやみません。

薔薇会の皆様、あなたの隠れた作品をぜひ出品してください。お友だちにも出品へのお誘いをしてください。お待ちしております。

# 恩師からのお便り



## 「今日を生きる」

旧職員 吉村 正美

福沢諭吉訓の中に「世の中で一番楽しく立派なことは、一生を貫く仕事をもつことである。」「世の中で一番美しいことは、すべてのものに愛情をもつことである。」「といった言葉があります。私は生涯を貫くことでは言えませんが、信愛女学院に四十年の間、楽しく務めさせて頂きました。昨年百周年を期に退職いたしました。信愛で全てのものに愛情を持つこと大切さも学びました。「百年の歩み」を先生方と執筆し、創立者が播かれた一粒の種が成長してゆく姿も理解できました。

んと歓談し、嬉しい思い出もつくりました。また百周年を期に旧職員の皆様と定期的に懇親ができるように、「旧職員有志の会」も発足しました。何事も一人で過はつてくれません。しかし、二人三人と集まれば確かな花が咲きます。小さな芽も大輪の花を咲かせます。これまで支えて頂いた皆様に心より感謝を申し上げます。

私は、現在、大正二年生まれで八十九歳になる母と同居しています。妻と息子夫婦に孫、四世代が顔を合わせます。子から親へ成長し「百つ」は「単立つ」がもとの言葉です。果立つまで手塩にかけると言いますが、手塩もおおむすびを作るときの母心です。違った個性をもち全能でない私達は、絶えず失敗したり転んだりしながら生きています。しかし、家族の絆の中では、欠点より長所を見て生活したいと願っています。せつかく生まれた人生です。

楽しい有意義なものにしなければ、生まれたかきがありません。ところで、私は退職後に地元から公民館長の依頼を受けましたので、仕事しています。また、民生

委員や児童委員も委嘱されましたので、新しい出会いが始まりました。芸術、宗教、政治など自分と異質な人と出会い友達となることで、創造性や発想も生まれ生活に張りがでます。思い出にひたる事より、この世に生きている事実を味わい、生きていく時間を有意義につかいたいと願っています。ひとり暮らしの老人や、不登校の家庭など相談に応じています。現在たしかに日本は豊かになり、家も車も日用品も、あるのがあたりまえといった風潮です。戦後なにもなかった時代を生きた私は、失うものもなかったし、決断も解決も自分が中心でした。しかし今は語らいの中で、自身で解決すべき問題も社会が解決すべきといった考えもあり複雑化しています。

私は信愛で培った心をこれから大切にしたいと思っています。人生はやり直すことはできないが、見直すことはできます。仕事に定年はありましたが、人生に定年はありません。

これからは熊本の四季おりおりの味わいを楽しみ、自分らしく最期まで、今日を生きていることを心掛けたいと思っています。皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

一年に一度は懇親会を開き親睦を深め、楽しい、ひとときを過ごしています。皆様も一緒に歌ってみませんか。入会を心よりお待ちしております。

森田 英子 (昭和二十七年卒)  
TEL 096-378-3658  
FAX 096-370-2658

森田 英子 (昭和二十七年卒)  
TEL 096-378-3658  
FAX 096-370-2658

森田 英子 (昭和二十七年卒)  
TEL 096-378-3658  
FAX 096-370-2658

森田 英子 (昭和二十七年卒)  
TEL 096-378-3658  
FAX 096-370-2658

森田 英子 (昭和二十七年卒)  
TEL 096-378-3658  
FAX 096-370-2658



## 支部だより



### 関西蓄微会だより

関西蓄微会会長

里内ハマ子 (昭和三十年卒)  
平成十三年六月十六日(土) 第六回関西蓄微会総会を、熊本県大坂事務所、熊本市大坂事務所、もつこす会の代表をお招きし、内本町会館で開催しました。

母校からは、退職されたばかりの吉村正美先生をお迎えし、母校の近況を報告していただきました。先生のお話を聞きながら、出席者はそれぞれ自分たちが学んだ頃の校舎、制服姿を思い浮かべ、一時を女学生にタイムスリップしたことでしよう。

今回は出席者が少なく、静かな会にならなければ良いかと気を揉んでいましたが、お忙しい中、発起人の千田耕一先生も東京から駆けつけて来られましたし、本部からは宮崎マサ子新会長と四名の新副会長が出席、会に花を添えて下さいました。いつもながらの和やかな会が終えることが出来、ほっとしました。

一年に一度は懇親会を開き親睦を深め、楽しい、ひとときを過ごしています。皆様も一緒に歌ってみませんか。入会を心よりお待ちしております。



関西蓄微会とは関西熊本県人会連絡協議会(五十八団体)の中の一

では総会を伝統的に五月の第三日曜日として参りましたが昨年の役員会で、もう少しフレキシブルに考えていこうと開催を次のようにいたしました。

平成十四年六月二日(日) 正午

団体として行動します。年五、六回の行事に二、三名から二十名位が参加し、他団体と親交を深めています。平成十三年度は新しい催しが二回ありましたので、併せて報告します。

四月十四日(土) 潮谷義子知事をお迎えしての熊本県農産物等の常設販売コーナー「くまもと村」オープンセレモニーに七名が参加し、買い物や試食を楽しみました。また十一月十六日(金) 熊本市農産物消費拡大大会で、熊本市内の五校の同窓生二十五名が消費者代表として出席しました。農産物の紹介とそれを食材とした料理の試食会があり、ふるさとを満喫した後で、意見交換会がありました。

関西蓄微会は今後、いかにして若い世代の方々にもつと積極的に参加し、楽しんでもらうかを話し合い、会の運営の在り方など検討すべきと考えています。

最後になりましたが、第七十七回蓄微会総会のご盛会をお祈り申し上げます。

その記念すべき時、本部の役員の方々と一緒に、天草蓄微会が設立され、天草の会の会長、副会長も決まり、この上もない喜びでございました。私達は、天草の輪を広げていくようにと願ひ、頑張っておりますが、なかなかご期待にそえることができません。心苦しく思っております。

信愛で学んだ天草の私達は、常に「信愛」を誇りに思い、蓄微会の輪が広がっていくように努めたいと思います。

それぞれ、老いも若きも、学級会を毎年のように開いて、母校のことや学生時代の思い出を語り、校歌を歌い、一泊の旅を楽しんでおります。その小さな輪から天草全体へと大きな輪に広がっていくように呼びかけていこうと思っております。

若い会員の皆様の集まりを大いに期待しております。最後に、母校信愛と同窓会のおまますの発展をお祈りいたします。

### 宇土蓄微会だより

宇土蓄微会会長

母校の創立百周年記念行事も盛大に行われ、私達宇土蓄微会一同大変嬉しく思っております。

宇土蓄微会の皆様には、平成十二年五月の大同窓会総会への参加や母校への寄付にも多大のご協力ご支援をいただき心から感謝しております。その気持ちを表したく、

十三日四月二十八日に集まって、食事の会を開きました。若い会員は、仕事の都合上欠席が多かったのですが、先輩の会員に来てもらいました。皆様、お元気な姿を見せて下さって嬉しゅうございました。本部からは、新会長・新副会長にご出席いただき、楽しいひとときを過ごすことができました。

宮崎会長からは、本年度の同窓会の活動目標・和と輪を広げること、母校の生徒募集への協力等について話があり、私達もできるだけのお力添えをしたいものだと思います。

当蓄微会からは、百周年記念行事への協力のお礼と、会員は二百数十名在任しているのに支部総会への参加者が少ないこと、多くの人を集めることができない難しさを話しました。

しかし、会員の中には、幼稚園々長として活躍され、宇土市の幼児教育に貢献していらっしゃる嬉しい話もあり、同窓生として誇らしく思いました。

当日は、少ない人数の集まりでしたが、おしゃべりしながらの楽しい食事会でした。今後連絡を密にして一人でも多くの会員に参加していただきたいと願っております。

最後に、母校信愛と同窓会のおまますの発展をお祈りいたします。

最後に、母校信愛と同窓会のおまますの発展をお祈りいたします。

### 二〇〇一年学校の出来事

- 1月・都道府県対抗女子駅伝に3名出場
- 1月・バレーボールVリーグに現役高校生で出場
- 2月・熊本県高校英語暗唱大会入賞2名
- 3月・第54回中学校卒業式、第52回高校卒業式
- 4月・中学2年修学旅行(沖縄)
- 4月・高校1年修学旅行(北海道)
- 4月・大林素子氏来校バレー部員指導(以来数回来校)
- 5月・第16回全国高校新体操選抜大会6位入賞(大阪)
- 5月・本年度就職内定率100%
- 6月・国立大学合格者19名、四年制私立大学合格者15名
- 6月・看護学校合格者10名
- 6月・医療系その他の専門学校合格者65名
- 7月・挨拶運動開始
- 7月・聖母祭(旧聖母月の集い)
- 7月・後援会花いっぱい運動、苗の植え付け(10月にも実施)
- 7月・世界ユースセーリング選手権大会2001出場(フランス)
- 8月・全国高校総体(一)の(総体)新体操4位、準決勝進出
- 8月・陸上3000M決勝進出
- 8月・全九州中学校新体操大会団体優勝
- 8月・バレーボール優勝
- 8月・全日本ジュニアバドミントン選手権予選、複優勝
- 8月・熊本県合唱コンクール、銀賞
- 8月・団体九州ブロック大会、新体操団体総合4位
- 8月・全国私立大会バドミントン競技大会団体2位
- 9月・地区保護者を以下の地区で実施
- 9月・牛深 大矢野 八代 宇土 小国 蘇陽 菊池 玉名 西合志 合志 阿蘇 大津 植木 下益城南 益城 熊本市(東部 南部 北部 託麻 学校)
- 9月・世界ユースバレーボール大会に選手2名、監督出場(クロアチア)
- 9月・熊本県揮毫大会入賞2名
- 9月・オーストラリアの姉妹校より中学生13名、教員3名来校
- 10月・ホームステイしながら交流を深める
- 10月・「赤い羽根」共同募金に協力
- 10月・団体出場、バレーボール、陸上(100Mハードル入賞)
- 10月・全九州高校生陸上大会優勝100Mハードル、3000M競歩、入賞800M
- 10月・全日本競歩大会高校女子の部2位
- 11月・華秋祭(文化祭)
- 11月・高校生英語暗唱大会1位
- 11月・熊本県高校演劇大会優秀賞
- 11月・学院懇話会
- 12月・校内クリスマス祭(生徒会よりケークのお土産)
- 12月・クリスマスキャロリング

春の息吹を感じられる季節になりました。

このたびの新聞発行に当たりまして、快く御協力くださいました方々に、心より厚く御礼申し上げます。どうぞ今後共よろしくお願ひ致します。

皆様の御多幸を祈りつつ、

編集後記

皆様の御多幸を祈りつつ、

皆様の御多幸を祈りつつ、

皆様の御多幸を祈りつつ、

皆様の御多幸を祈りつつ、